

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー										
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能					2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。					(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするすることができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。	(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しようとするすることができる。
1	英語 A	半期	演習			○							○	○
2	英語 B	半期	演習			○							○	○
3	英語 C	半期	演習			○							○	○
4	英語 D	半期	演習			○							○	○
5	英語応用 A	半期	演習			○				○			○	○
6	英語応用 B	半期	演習			○				○			○	○
7	英語応用 C	半期	演習			○				○			○	○
8	英語応用 D	半期	演習			○				○			○	○
9	小論文の書き方 A	半期	演習				○			○				
10	小論文の書き方 B	半期	演習				○			○				
11	コミュニケーション英語 A	半期	演習			○				○			○	○
12	コミュニケーション英語 B	半期	演習			○				○			○	○
13	コミュニケーション英語 C	半期	演習			○				○			○	○
14	コミュニケーション英語 D	半期	演習			○				○			○	○
15	英語 C A L L 演習 A	半期	講義			○				○			○	○
16	英語 C A L L 演習 B	半期	講義			○				○			○	○
17	憲法 A	半期	講義	○				○				○		○
18	憲法 B	半期	講義	○				○				○		○
19	入門演習 A	半期	演習				○						○	○
20	入門演習 B	半期	演習				○						○	○
21	西洋政治外交史 A	半期	講義		○				○				○	○
22	西洋政治外交史 B	半期	講義		○				○				○	○
23	日本政治外交史 A	半期	講義		○				○				○	○
24	日本政治外交史 B	半期	講義		○				○				○	○
25	東洋政治外交史 A	半期	講義		○				○				○	○
26	東洋政治外交史 B	半期	講義		○				○				○	○
27	現代政治理論 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
28	現代政治理論 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
29	政治過程論 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
30	政治過程論 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
31	行政学 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
32	行政学 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
33	地方自治論 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
34	地方自治論 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
35	公共政策論 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
36	公共政策論 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
37	国際政治学 A	半期	講義	○	○			○	○				○	○
38	国際政治学 B	半期	講義	○	○			○	○				○	○
39	国際関係論 A	半期	講義		○			○	○			○	○	○
40	国際関係論 B	半期	講義		○			○	○			○	○	○

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー											
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)	
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能					2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。					(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとすることができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。	(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しようとすることができる。	
41	海外地域政治研究（東南アジアA）	半期	講義		○				○				○		○
42	海外地域政治研究（東南アジアB）	半期	講義		○				○				○		○
43	海外地域政治研究（中国A）	半期	講義		○				○				○		○
44	海外地域政治研究（中国B）	半期	講義		○				○				○		○
45	海外地域政治研究（朝鮮A）	半期	講義		○				○				○		○
46	海外地域政治研究（朝鮮B）	半期	講義		○				○				○		○
47	海外地域政治研究（北アメリカA）	半期	講義		○				○				○		○
48	海外地域政治研究（北アメリカB）	半期	講義		○				○				○		○
49	海外地域政治研究（中南米A）	半期	講義		○				○				○		○
50	海外地域政治研究（中南米B）	半期	講義		○				○				○		○
51	海外地域政治研究（ロシアA）	半期	講義		○				○				○		○
52	海外地域政治研究（ロシアB）	半期	講義		○				○				○		○
53	海外地域政治研究（EU A）	半期	講義		○				○				○		○
54	海外地域政治研究（EU B）	半期	講義		○				○				○		○
55	海外地域政治研究（オセアニアA）	半期	講義		○				○				○		○
56	海外地域政治研究（オセアニアB）	半期	講義		○				○				○		○
57	海外地域政治研究（日本の対外関係A）	半期	講義		○				○				○		○
58	海外地域政治研究（日本の対外関係B）	半期	講義		○				○				○		○
59	海外地域政治研究（北欧A）	半期	講義		○				○				○		○
60	海外地域政治研究（北欧B）	半期	講義		○				○				○		○
61	海外地域政治研究（英国A）	半期	講義		○				○				○		○
62	海外地域政治研究（英国B）	半期	講義		○				○				○		○
63	海外地域政治研究（フランスA）	半期	講義		○				○				○		○
64	海外地域政治研究（フランスB）	半期	講義		○				○				○		○
65	海外地域政治研究（ドイツA）	半期	講義		○				○				○		○
66	海外地域政治研究（ドイツB）	半期	講義		○				○				○		○
67	海外地域政治研究（中東A）	半期	講義		○				○				○		○
68	海外地域政治研究（中東B）	半期	講義		○				○				○		○
69	海外地域政治研究（アフリカA）	半期	講義		○				○				○		○
70	海外地域政治研究（アフリカB）	半期	講義		○				○				○		○
71	地誌学通論A	半期	講義				○		○				○		○
72	地誌学通論B	半期	講義				○		○				○		○
73	人文地理学通論A	半期	講義				○		○				○		○
74	人文地理学通論B	半期	講義				○		○				○		○
75	自然地理学通論A	半期	講義				○						○		○
76	自然地理学通論B	半期	講義				○						○		○
77	西洋政治思想史A	半期	講義		○					○			○		○
78	西洋政治思想史B	半期	講義		○					○			○		○
79	日本政治思想史A	半期	講義		○					○			○		○
80	日本政治思想史B	半期	講義		○					○			○		○

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー											
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)	
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。		(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとすることができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しようとするることができる。		
81	東洋政治思想史A	半期	講義		○				○			○			○
82	東洋政治思想史B	半期	講義		○				○			○			○
83	政治文化論A	半期	講義		○				○			○			○
84	政治文化論B	半期	講義		○				○			○			○
85	比較政治学A	半期	講義		○				○			○			○
86	比較政治学B	半期	講義		○				○			○			○
87	都市政治論A	半期	講義		○			○				○			○
88	都市政治論B	半期	講義		○			○				○			○
89	平和学A	半期	講義		○			○				○	○		○
90	平和学B	半期	講義		○			○				○	○		○
91	現代政治のイシューA	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
92	現代政治のイシューB	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
93	現代政治のイシューC	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
94	現代政治のイシューD	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
95	現代行政のイシューA	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
96	現代行政のイシューB	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
97	現代行政のイシューC	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
98	現代行政のイシューD	半期	演習	○	○			○	○			○		○	○
99	地域政策総合研究A	半期	講義	○				○				○			○
100	地域政策総合研究B	半期	講義	○				○				○			○
101	Political Studies In English A	半期	講義			○	○	○					○	○	○
102	Political Studies In English B	半期	講義			○	○	○					○	○	○
103	基礎演習	通年	演習				○	○			○			○	
104	専門演習A	通年	演習				○	○	○	○		○		○	○
105	専門演習B	通年	演習				○	○	○	○		○		○	○
106	専門演習C	通年	演習				○	○	○	○		○		○	○
107	政治学インターンシップA	半期	実習				○	○		○		○	○	○	○
108	政治学インターンシップB	半期	実習				○	○		○		○	○	○	○
109	政治学インターンシップC	半期	実習				○	○		○		○	○	○	○
110	政治学インターンシップD	半期	実習				○	○		○		○	○	○	○
111	日本史通論	半期	講義			○		○				○			○
112	西洋史通論	半期	講義			○		○				○			○
113	東洋史通論	半期	講義			○		○				○			○
114	哲学通論A	半期	講義			○		○				○			○
115	哲学通論B	半期	講義			○		○				○			○
116	倫理学通論A	半期	講義			○		○				○			○
117	倫理学通論B	半期	講義			○		○				○			○
118	宗教学概説A	半期	講義			○		○				○			○
119	宗教学概説B	半期	講義			○		○				○			○
120	民法1（日常生活と法A）	半期	講義			○		○						○	○

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー											
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)	
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能					2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。					(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとする ことができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。	(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しよう することができる。	
121	民法1（日常生活と法B）	半期	講義			○		○						○	○
122	民法2（取引社会と法A）	半期	講義			○		○						○	○
123	民法2（取引社会と法B）	半期	講義			○		○						○	○
124	行政法A	半期	講義	○				○						○	
125	行政法B	半期	講義	○				○						○	
126	刑法A	半期	講義			○		○						○	○
127	刑法B	半期	講義			○		○						○	○
128	商法総則・手形小切手法A	半期	講義			○		○						○	
129	商法総則・手形小切手法B	半期	講義			○		○						○	
130	会社法A	半期	講義			○		○						○	
131	会社法B	半期	講義			○		○						○	
132	労働法A	半期	講義			○		○						○	○
133	労働法B	半期	講義			○		○						○	○
134	社会保険法A	半期	講義			○		○						○	○
135	社会保険法B	半期	講義			○		○						○	○
136	経済法A	半期	講義			○		○						○	
137	経済法B	半期	講義			○		○						○	
138	外国法A	半期	講義			○		○						○	○
139	外国法B	半期	講義			○		○						○	○
140	国際法A	半期	講義	○				○						○	○
141	国際法B	半期	講義	○				○						○	○
142	国際経済法A	半期	講義			○		○						○	
143	国際経済法B	半期	講義			○		○						○	
144	経済理論A	半期	講義			○		○						○	
145	経済理論B	半期	講義			○		○						○	
146	財政学A	半期	講義	○				○						○	○
147	財政学B	半期	講義	○				○						○	○
148	経営学A	半期	講義			○		○						○	
149	経営学B	半期	講義			○		○						○	
150	社会福祉概論A	半期	講義			○		○				○			○
151	社会福祉概論B	半期	講義			○		○				○			○
152	経済政策A	半期	講義	○				○						○	○
153	経済政策B	半期	講義	○				○						○	○
154	国際経済論A	半期	講義			○		○						○	○
155	国際経済論B	半期	講義			○		○						○	○
156	社会政策A	半期	講義	○				○						○	○
157	社会政策B	半期	講義	○				○						○	○
158	労働経済A	半期	講義			○		○						○	
159	労働経済B	半期	講義			○		○						○	
160	地方財政A	半期	講義	○				○						○	○

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー											
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)	
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能					2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。					(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするすることができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。	(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しようとするすることができる。	
161	地方財政B	半期	講義	○				○						○	○
162	国際金融論A	半期	講義			○		○						○	
163	国際金融論B	半期	講義			○		○						○	
164	金融論A	半期	講義			○		○						○	
165	金融論B	半期	講義			○		○						○	
166	マス・コミュニケーション論A	半期	講義			○		○						○	○
167	マス・コミュニケーション論B	半期	講義			○		○						○	○
168	社会学原論A	半期	講義			○		○						○	○
169	社会学原論B	半期	講義			○		○						○	○
170	社会心理学A	半期	講義			○		○						○	○
171	社会心理学B	半期	講義			○		○						○	○
172	社会調査論A	半期	講義				○	○						○	
173	社会調査論B	半期	講義				○	○						○	
174	時事英語A	半期	演習			○		○					○		○
175	時事英語B	半期	演習			○		○					○		○
176	実践的外国語A	半期	演習			○		○		○			○		○
177	実践的外国語B	半期	演習			○		○		○			○		○
178	社会情報論A	半期	講義			○		○			○				○
179	社会情報論B	半期	講義			○		○			○				○
180	コンピュータ基礎A	半期	演習			○			○				○		
181	コンピュータ基礎B	半期	演習			○			○				○		
182	情報の分析A	半期	演習			○			○				○		
183	情報の分析B	半期	演習			○			○				○		
184	情報と論理A	半期	演習			○			○				○		
185	情報と論理B	半期	演習			○			○				○		
186	情報と数理A	半期	演習			○			○				○		
187	情報と数理B	半期	演習			○			○				○		
188	情報と統計A	半期	演習			○			○				○		
189	情報と統計B	半期	演習			○			○				○		
190	政治学A	半期	講義	○	○			○	○		○			○	○
191	政治学B	半期	講義	○	○			○	○		○			○	○
192	教科教育法(社会)A	半期	講義			○	○							○	
193	教科教育法(社会)B	半期	講義			○	○							○	
194	教科教育法(社会)C	半期	講義			○	○							○	
195	教科教育法(社会)D	半期	講義			○	○							○	
196	教科教育法(地理歴史)A	半期	講義			○	○							○	
197	教科教育法(地理歴史)B	半期	講義			○	○							○	
198	教科教育法(公民)A	半期	講義			○	○							○	
199	教科教育法(公民)B	半期	講義			○	○							○	
200	商行為法・保険法A	半期	講義			○		○						○	○

カリキュラムマップ：法学部 政治学科（2020年度以降）

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー										
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP1(4)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP4(1)
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 国際機関・国・地方自治体などの政策の意図と内容を正しく把握することができる。 (2) 地域の問題から国際社会の課題にいたる様々なレベルにおける政治の動きを理解することができる。 (3) 在学期間を通じて獲得した語学力や諸分野の知識と理解を活用し、様々な分野で活躍・貢献できる力を身につけている。 (4) 幅広い分野において習得した知識と理解を他者に伝えて議論するために必要な技能を身につけている。		(1) 修得した専門的知識と技能をもって、地域社会、国家、国際社会における課題を自ら発見するために必要な思考力や判断力を身につけている。 (2) 修得した知識を活用しながら、科学的アプローチに基づき、政治現象を分析する能力を身につけている。 (3) よりよい政治や社会のあり方について、広い視野に立って自分とは異なる意見を持つ人とも議論することができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするすることができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1) 地域社会、国家、国際社会において、性、人種、国籍、信条、年齢、身体的特徴などの多様性を認め、多文化共生の実現に寄与しようとするすることができる。	
201	商行為法・保険法B	半期	講義			○		○					○	○
202	国際私法A	半期	講義			○		○					○	○
203	国際私法B	半期	講義			○		○					○	○
204	税法A	半期	講義			○		○					○	○
205	税法B	半期	講義			○		○					○	○
206	知的所有権法A	半期	講義			○		○					○	○
207	知的所有権法B	半期	講義			○		○					○	○
208	会計学A	半期	講義			○		○					○	○
209	会計学B	半期	講義			○		○					○	○
210	民事訴訟法A	半期	講義			○		○					○	○
211	民事訴訟法B	半期	講義			○		○					○	○
212	民事執行法A	半期	講義			○		○					○	○
213	民事執行法B	半期	講義			○		○					○	○
214	倒産処理法A	半期	講義			○		○					○	○
215	倒産処理法B	半期	講義			○		○					○	○
216	教育法A	半期	講義			○		○					○	○
217	教育法B	半期	講義			○		○					○	○
218	法学特殊講義1A	半期	講義			○		○					○	○
219	法学特殊講義1B	半期	講義			○		○					○	○
220	法学特殊講義1C	半期	講義			○		○					○	○
221	法学特殊講義1D	半期	講義			○		○					○	○
222	法学特殊講義2A	半期	講義			○		○					○	○
223	法学特殊講義2B	半期	講義			○		○					○	○
224	外国法2A	半期	講義			○		○					○	○
225	外国法2B	半期	講義			○		○					○	○
226	法制史A	半期	講義			○		○					○	○
227	法制史B	半期	講義			○		○					○	○
228	法社会学A	半期	講義			○		○					○	○
229	法社会学B	半期	講義			○		○					○	○
230	法哲学A	半期	講義			○		○					○	○
231	法哲学B	半期	講義			○		○					○	○
232	法思想史A	半期	講義			○		○					○	○
233	法思想史B	半期	講義			○		○					○	○
234	法情報学・情報法学	半期	講義			○		○					○	○